



学校とまちの協力体制で学力も向上

林 海田町では、社会教育施設である2つの公民館やふるさと館、町立図書館の存在が良いですね。町立図書館は蔵書も充実していますし、司書の配置もしっかりしている。読み聞かせボランティアの育成など、子どもたちが本に親しめるような工夫をしています。

町長 図書室に関しては、学校現場も整備されています。海田町内の小・中学校に各1名の学校司書を配置して書籍の入れ替えをこまめにしたり、授業と連携したさまざまな取り組みをしています。

林 海田中学校の俳句の投句は、国語の授業を学校司書と一緒にしていますね。ほかにも新聞を活用した授業をしたり朝読の時間を設けていたりするなど、各学校で活字に触れる機会を多く作っています。

町長 実は私も海田中学校の出身で、当時は漢詩を覚えるという取り組みをしていました。今でもそらんじている詩がいくつかあるんですよ。

林 海田町の平均学力は国語と算数(中学は数学)において小・中学校に県平均を上回っていて、しかもそれが数年間続いている状況です。学校での先生方の熱心な指導、まちをあげての教育へのサポート体制がこのような数字を生み出しているんじゃないでしょうか。

町長 海田町には大きく分けて2つの中学校区が存在しており、小・中学校の9年間通じての学びを基盤にしています。そういった小・中学校の連携効果も大きいかもしれませんね。

子どもたちの伸びを左右する教育環境

林 あとは、コロナ禍で加速したDX(デジタルトランスフォーメーション)。学校現場におけるICT教育の導入が一気に進んだように感じます。海田町は広島県内でもスタートが早かった。現在、小・中共に一人1台の端末が整備されていますね。

町長 そうですね。環境によって子どもの伸びは変わるので、今何が必要かを考えるのはとても大事です。今後毎日考えていきたいです。

林 環境が整うと、自分から学ぼう、学びたいという意欲が出てくる。自発的な学びの姿勢が醸成されるのはとても大切だと思います。毎年夏休みに行っている「こども議会」もその1つです。



町長 各小・中学校から選ばれた20名のこども議員が、実際の議場を使って一般質問を投げかけてくる。まっすぐな意見だからこそ、するどい内容もありますよ(笑)。それでも子どもの目線で見つけたまちを良くするアイデアは、なるほどなと思わせられるところが随分あります。SDGsを念頭に置いた提言などは、未来を見据えた教育が行き届いている賜物だなとうれしく思いました。

林 自分で考える力、発言する力、他者と協働する力……こども議会の取り組みを通じて、きっと子どもたちにさまざまな力が身についているんでしょうね。



まちづくりは、人づくり 海田の未来を後進に託して

町長 ずばり、これからの教育に必要なのはどんな部分だとお考えですか。

林 今までも学校を支援する仕組みはありましたが、やはりコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)が重要視されてくるんじゃないでしょうか。コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域の皆さんが共に知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させたり、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支える制度です。学校が掲げる目標やビジョンを共有して、地域と一体となって子どもたちを育てていきます。各学校で総合的な学習の時間など、地域の人たちの力をお借りして学びの場を設ける機会はありませんでしたが、これからもっと、地域一体となって子どもたちの健やかな成長を育てていけたらと思います。



町長 “人づくりはまちづくり、まちづくりは人づくり”ですからね。教育はその最たるものだと思います。今までも、まちが人を育てることで、より良いまちが形成されてきました。未来ある子どもたちが多くの学びを得て、このまちをこれから背負っていつてくれるなら、こんなに頼もしくうれしいことはないですね。

my Favorite

海田のお気に入り 昭和公園付近の四季の眺め

通称「三角公園」と呼ばれている昭和公園付近の、四季折々の景色が気に入っています。園内にも周囲にも桜があり、川沿いの風景も相まって春には見事な眺めです。葉が赤や黄色に色づく秋もいいですね。吹き抜ける川風が心地よく、時々孫と一緒に遊びに行ったりすることもあり、思ひ出の多い公園です。(林)



今をときめく まちのあの人に 会いに行く

企画課(役場3階)

TEL 823-9212

Mail kikaku@town.kaita.lg.jp

広報かいたにご出演いただける人を募集中。自薦他薦は問いません。海田町で活躍していたり、新しいことに取り組んでいた、まちのことが大好きな人をお待ちしています。興味がある人は上記の連絡先より問い合わせください。